

I 表現基礎—文のしくみ—

なまえ

《格助詞の使い方と主部・述部の使い分け》

一 つぎの□にあてはまる文字をあとからえらんで書き入れなさい。(5点×4)

- ① お兄^{にい}さんは、ことし中学校^をそつぎようしました。
- ② おとうと^も、ぼくとおなじカバンをもっています。
- ③ わたしは、まんが^がだいすきです。
- ④ 少年^{しょうねん}は、はだし^ではしっています。

でがもを

二 つぎの文をよんで、「だれが(なにが)どうした(なんだ)」かを答えなさい。(9点×2)

- ① 赤や白のチューリップがきれいにさいています。
〔 チューリップ 〕 が 〔 さいています 〕。
- ② ぼくときみは子どものころからの友^{とも}だちだ。
〔 ぼくときみ 〕 は 〔 友だちだ 〕。

三 つぎの□にようすをあらわすことばをあてはめて文をかんせいさせなさい。(4点×3)

- ① 山のように 大 き い つなみがおしよせてきた。

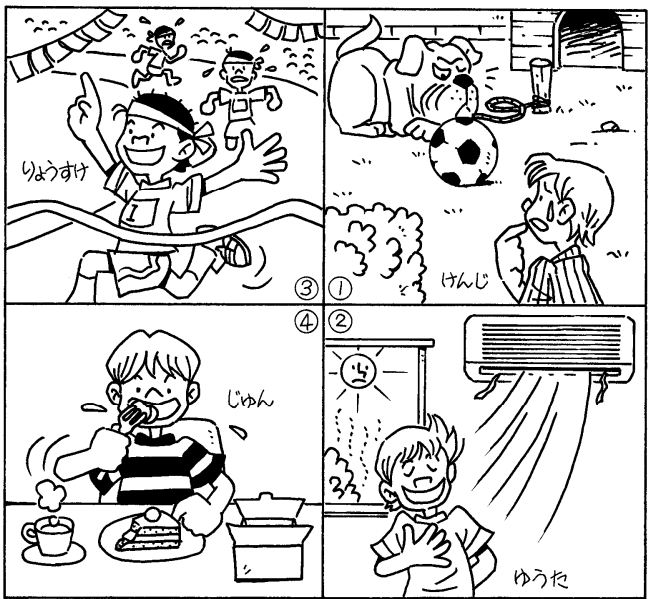
* 「大きな」でもよい。

- ② ふ る い 本がほこりをかぶってねむっていた。
- ③ うめの木で、うぐいすが う つ く し い こえでなく。

Ⅱ 推察力ー絵を見てー

なまえ

一 つぎの絵を見て、問いに答えなさい。



(1) ①～④の絵の男の子はどんな気持ちですか。あてはまることばを [] からえらんで書き入れなさい。(5点×4)

- ① () **こわい** ()
- ② () **すずしい** ()
- ③ () **うれしい** ()
- ④ () **おいしい** ()

こわい つよい おいしい
すずしい うれしい あつ

(2) ①～④の絵の場面を文にしてみました。 [] にあてはまること

ばを書き入れなさい。(2点×15)

① **けんじ** くんはボールが **犬** のそばにころがって
しまいました。

② 夏のある日、まどの **そと** は **あつ** そうです。

③ いえの **中** では、 **ゆうた** くんが **クーラー**
のかげにあたっていて、 **すずし** そうです。

④ **りょうすけ** くんは、運動会(うんどうかい)でゆうゆうと **一ばん**
なりました。

④ **じゆん** くんは **大きな** 口をあけて、 **フォーク**
でケーキを食べています。 **こうちや** までついています。

*ミルク、コーヒーでもよい。

Ⅲ 解読力—文を読んで—

なまえ

一 つぎの物語を読んで、問いに答えなさい。

「白いかれいの話」

小熊 秀雄

*しつきりなしに海底に地震のある国がありました。そのために海はいつもにごっていて底もみえず、漁師たちは、ただつりばりをなげこんで、てごたえのあるとき糸を引きあげてつっているありさまでした。村に一人の①りこうぶつた漁師が住んでいて、かれは漁から帰ってきてこんなことを話しました。

『ちかごろ、わしのつるかれいはぜんぶまっ白だよ。このごろの海の水はひじょうにきれいになった。それでかれいのやつも白くなったのだらう—』と言うのでした。なかまの漁師はかんがえた。自分たちが漁にでも、海の水はあいかわらずにごっているし、だいいちまっ白になつたかれいなどは、つれたためしがないので、そのことばをあやしみました。

『そんなはずがない、ひとつそのきみの白いかれいというのをはいけんさせてもらおうじゃないか—』

漁師たちはうちそろって男の家へ行ってみました。男の家のどまには、なるほどまっ白いかれいがならべられていましたが、よく見るとかれいの腹がわの白いところを、みんな上向きにしてならべてあることがわかりました。漁師たちは、それをひっくり返して、表の黒いところを出して指さしながら言いました。

『きみはみような男だよ。こないだから大分、*しけがつづいていたが、このたった二三日、*なぎがあっただけで、すぐ気のかわったことを言うのはこまりものだね。かλείの裏表もわからずに、よくもこれまで漁師をやつて来られたもんだ。大体きみという男はものの裏表がわからんばかりじゃない、前に言ったことを、②*手のひらを返すように、平気でかえてしまう、信用のできない、ズルイ男だよ—』

こういつて笑いながら一同は帰つてゆきました。

*しつきりなし ひつきりなしのことで、たえまなくということ

*しけ 強い風がふいて海があれること

*なぎ 風がなく海面がしずかなこと

*手のひらを返す 原文は「手の裏を返す」になっています。

注 小熊秀雄全集「童話集小熊秀雄（昭和6三十四）青空文庫より

・かなづかいは現代かなづかいに、読みにくい漢字はひらがな、わかりにくい言葉はわかりやすくしました。

(1) かλείの表と裏はどんな色をしていますか。文中のことばをぬきだして答えなさい。(3点×2)

表・・・(黒い) 裏・・・(白い)

(2) —線①「りこうぶつた」の意味を、つぎのア〜ウからあてはまるものをえらび、きこうで答えなさい。

(イ) () (4点)

ア りこうな人をたたくこと

イ 自分がりこうであるようにみせること

ウ あたまのよい人

(3) この物語の国の海がいつもにごっているのはなぜですか。(5点)

() しつきりなしに海底にじしんがある () ため

(4) この国の漁師たちは海がどのようになってほしいとおもっていますか。また、そうおもう理由はなんだとおもいますか。

(5点×2)

() 海がきれいになって () ほしい。

そうなると () さかながたくさんつれる () から

(5) 一人のりこうぶつた漁師はなかまの漁師にどんな話をしましたか。つぎの()に、文中のことばをつかって、書き入れなさい。

(5点)

このごろの海の水はひじょうにきれいになった

から、

わしのつるかれいはずんぶまつ白だということを話した。

(6) なかまの漁師は、なぜうたがいましたか。その理由を文中からぬきだしなさい。(5点)

自分たちが漁にでも、海の水はあいかわらずにごっているし、だいいちまつ白になったかれいなどは、つれたためしがない

から

(7) なかまの漁師は男の家に行つて、どんなことがわかりましたか。

(5点)

白いかれいというのは、かれいのはらがわをうわむきにしてるだけ(でうそ)だった

こと

(8) 一線②「手のひらを返すように」ということばは、この男がどんな男であることを表していますか。文中のことばをぬきだして答えなさい。(5点)

前に言ったことを、平気でかえてしまう、信用の
できない、ズルイ

男だ。

(9) (8) の答えからかんがえて、この男はなかまの漁師からますますどうおもわれるようになりましたか。ひらがな四文字で書きなさい。(5点)

ますます

し

ん

よ

う

されなくなった。

- 一 「白いかれいの話」をよんで、あなたはなぜこの男はこんなうそをついたのだとおもいますか。あなたがうそをついたことがあったり、うそをつかれたことがあったりしたことをおもいだして書いてみましょう。あとの例を参考に書きなさい。

(八〇字から一三〇字以内)

【例】

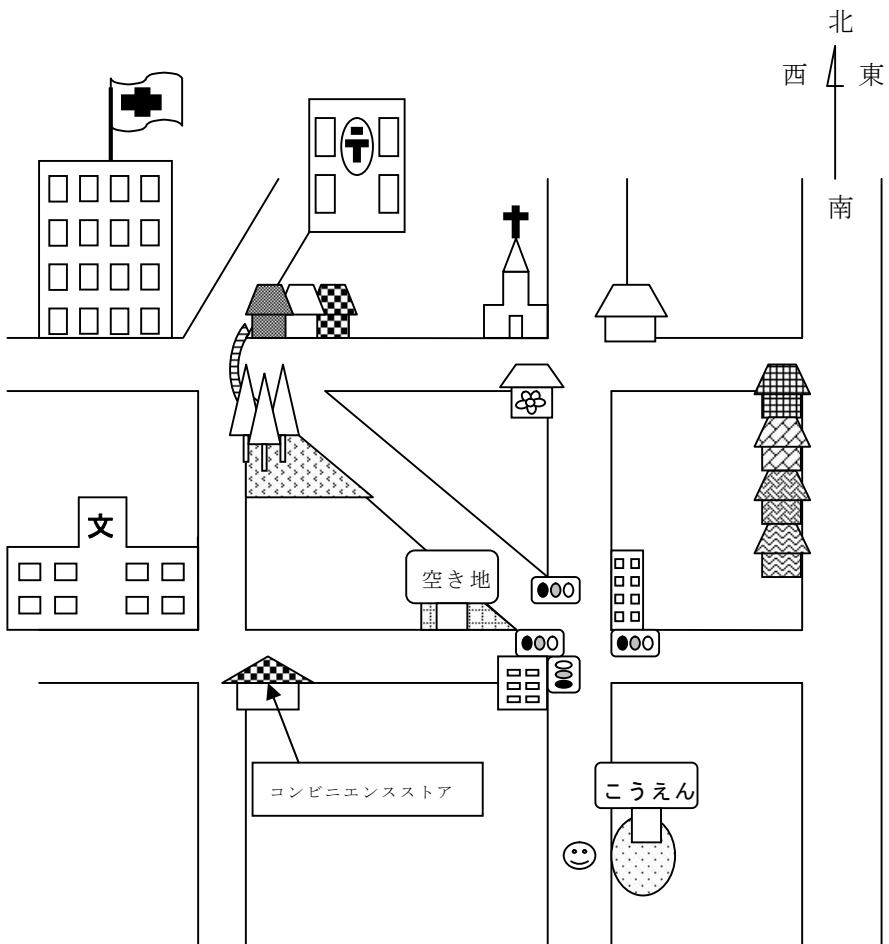
お母^{かあ}さんが、おとうとばかりをかわいがるので、くやしくて、わたしはびょうきのまねをしたことがあります。この男もみんなにあってにされないから、うそをいって、じぶんを見てもらいたかったのだとおもいます。

- 二 まりちゃんは、公園^{こうえん}を出たところで大学生のおねえさんに、道^{みち}をたずねられました。おねえさんは、「できるだけ早くゆうびんきよくに行きたい」と、まりちゃんにいいました。まりちゃんは、おねえさんにつぎのようにおしえてあげました。でもおねえさんはゆうびんきよくのかえりにとおまわりしたことに気づいたのでした。あなたならどのようなおしえてあげますか。わかりやすくおしえてあげてください。(一五〇字から二五〇字以内)

まりちゃん

このとおりをまっすぐ北にいくと、しんごうのある広いこうさ点に出ます。左のおうだん歩道をわたって、まっすぐ西にいくとまたこうさ点で、かどにコンビニがあります。むかいがわには学校が見えます。南北にとおっているどうろの北にそってまっすぐいくと、大きな木が三本ある三かくこうえんがあります。そのかどには歩道きょうがありますので、それをわたってさらに北にいくと、ゆうびんきよくが見えます。

*道路の両側すべては歩道になっています。また、こうさ点にはすべて、おうだん歩道があります。



一

採点基準 五〇点

次の順に採点してください。

- ① 男の気持ちが入っている。
- ② 自分の経験が入っている。
- ③ 文の書き始めを一マスあけている。
- ④ 主部と述部の使い方が適切か。
- ⑤ 句読点が適切に使われている。
- ⑥ 漢字が二字以上使われている。

二五点	二〇点	一点	二点	一点	一点
-----	-----	----	----	----	----

二

採点基準 五〇点

次の順に採点してください。

- ① 三角形の斜辺の道が入っている。
- ② 目印や方向、左右などの言葉が入っている。
- ③ 文の書き始めを一マスあけている。
- ④ 主部と述部の使い方が適切か。
- ⑤ 句読点が適切に使われている。
- ⑥ 漢字が三字以上使われている。

二五点	二〇点	一点	二点	一点	一点
-----	-----	----	----	----	----

* 字数が多すぎる場合は減点

二点

字数が少なすぎる場合は減点

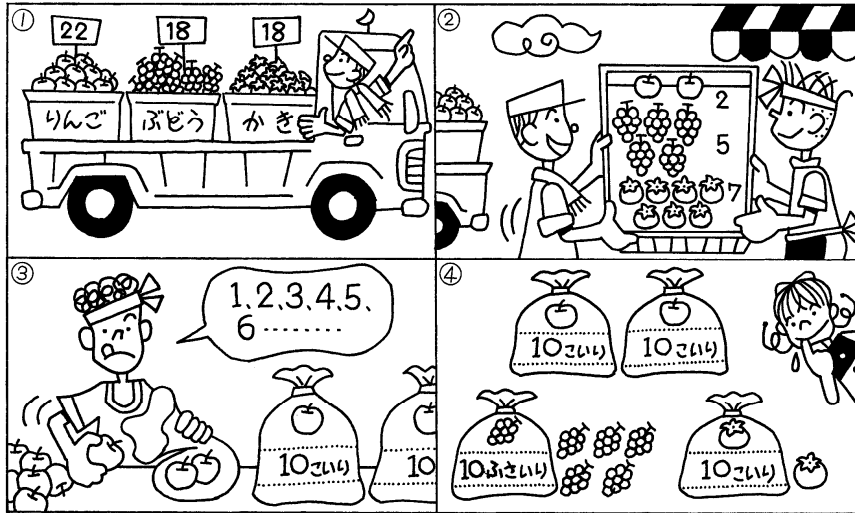
五点

I 基礎編 ー概念の理解度ー

なまえ

《量としての数》

- 1 下の絵を見て、問いに答えなさい。(1点×15)



- (1) ③の絵で、「6」のつぎの数は、どれですか。○でかこみなさい。

[7 70 700]

- (2) ②の絵で、トラックにのこった、りんご・ぶどう・かきはいくつになりますか。()にあてはまる数を、かき入れなさい。

りんごは (2) こおろしたので、のこりは (20) こ

ぶどうは (5) ふさおろしたので、のこりは (13) ふさ

かきは (7) こおろしたので、のこりは (11) こ

- (3) ④の絵で、りんご・ぶどう・かきの数は、いくつですか。

りんごは、10こ入りのふくろが (2) ふくろがあるので、
ぜんぶで (20) こです。

ぶどうは、10ふさ入りのふくろが (1) ふくろと、はんぱが
(5) ふさあるので、ぜんぶで (15) ふさです。

かきは、10こ入りのふくろが (1) ふくろと、はんぱが
(1) こあるので、ぜんぶで (11) こです。

《年齢・順序としての数》

2 下の絵を見て、問いに答えなさい。



(1) () の中にあてはまる数を、かき入れなさい。(2点×3)

63は(10)のかたまりが(6)こと1を(3)こあわせた数です。

(2) ③の絵の()に入るしきをかんがえ、あとの文の()に入る数を答えなさい。(5点+2点)

しき ($68 - 63 = 5$)

60年まえもいまも、はかせとおにいさんの年のちがいは(5)才です。

(3) ④の絵は、はかせの子どものころの家族写真です。()の中にあてはまる数をかき入れなさい。(2点×5)

家族写真にはぜんぶで(8)人うつつています。男の人は(4)人、女の人は(4)人、キミから見てお父さんは、右から(8)ばん目で、おじいちゃんは、左から(2)ばん目です。

《数の組み合わせ》

3 200円をもってぶんぼうぐをかいにいきました。つぎの問いに答えなさい。(1点×5+7点)

(1) ちょうど200円で、できるだけたくさんやしゅるいのぶんぼうぐをかいたいとおもいます。どんなぶんぼうぐがかえますか。

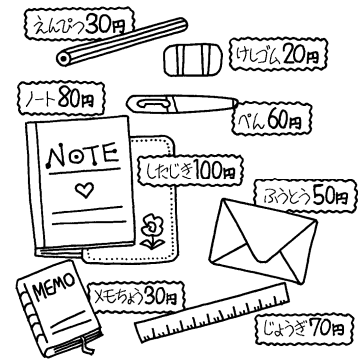
【解答】 えんぴつ けしゴム

ふうとう じょうぎ メモちょう

(2) けしゴム4つと、おなじねだんのものは何ですか。

【解答】 $20 + 20 + 20 + 20 = 80$

答 ノート



《数の比較》

- 1 下のひょうは、赤ぐみと白ぐみのやきゅうのとくてんひょうです。問いに答えなさい。

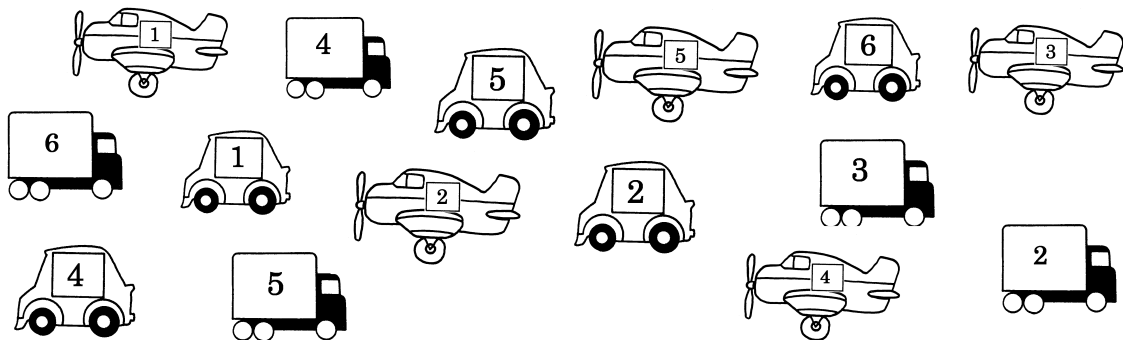
かい くみ	1	2	3	4	5	計
赤ぐみ	0	2	0	4	1	7
白ぐみ	2	0	3	1	2	8

- (1) 計のらんに、赤ぐみの入れたてんと、白ぐみの入れたてんのごうけいをかきなさい。(2点×2)
- (2) どちらが勝ちましたか。(2点) (白ぐみ)
- (3) (2)は、どうしてわかりましたか。そのわけをかきなさい。(5点)

【解答】

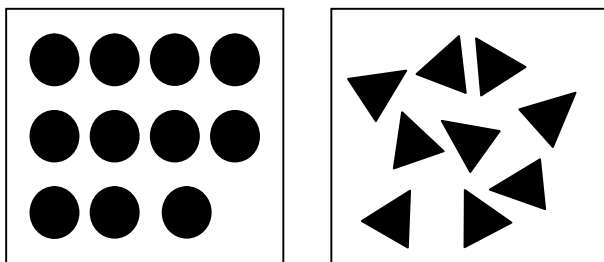
ごうけいした数をくらべたら、白ぐみのほうがおおいから。

- 2 おもちゃのミニカーとトラックとひこうきが、6こずつありましたが、それぞれ1こなくなりました。1から6のうち、なくなったおもちゃの番号を()にかき入れなさい。(3点×3)



ミニカー (3) トラック (1) ひこうき (6)

3 つぎの文をよんで、問いに答えなさい。



(1) ●は、なんこありますか。

【解答】

(2点)

11こ

(2) ▲は、なんこありますか。(2点)

【解答】

9こ

(3) ●と▲は、ぜんぶでなんこありますか。(4点)

【解答】

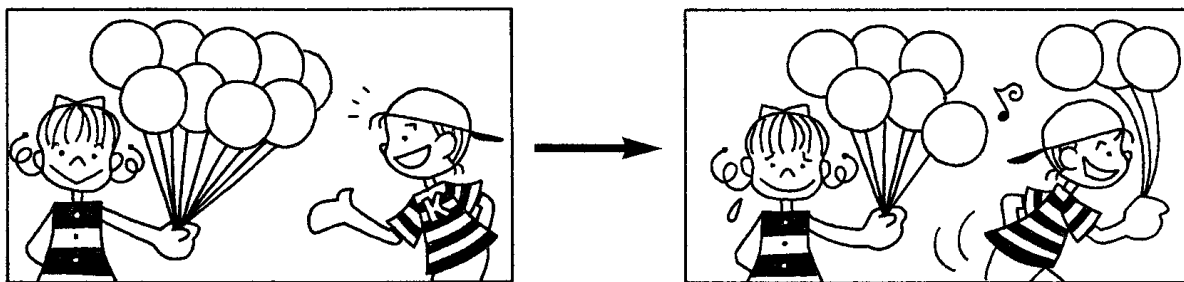
11 + 9 = 20 答え 20こ

(4) ●と▲では、どちらがなんこおおいですか。(4点)

【解答】

11 - 9 = 2 (●) が (2) こおおい。

4 下の絵は、ゆみがけんたにふうせんをあげているところの絵です。
あとの文の () にあてはまる数字をかき入れなさい。(2点×9)



(1) ゆみは、ふうせんを (㊦ 9) つもっています。けんたに
(㊧ 3) つあげたので、のこりは (㊨ 6) つになりました。
しきは、(㊩ 9) - 3 = (㊪ 6)

(2) ゆみは、ふうせんを (㊦ 9) つもっています。けんたに
なんこかあげたので、6つのこりました。けんたにあげたのは
(㊧ 3) つです。

しきは、(㊨ 9) - 6 = (㊩ 3)

Ⅲ 発見編 - 応用 -

なまえ

《規則性の発見》

1 つぎの数字はどんなじゅんばんにならんでいるでしょう。前後の数字のきそくを発見して、□にあてはまる数字をかき入れ、どんなきそくが発見できたかもかきなさい。

(1)

2	5	8	11	14	17	20	23	26
---	---	---	----	----	----	----	----	----

 (1 点×4+4 点)

きそく (例 前の数に 3 をたした数)

(2)

80	75	70	65	60	55	50	45	40
----	----	----	----	----	----	----	----	----

 (1 点×4+4 点)

きそく (例 前の数より 5 ひいた数)

《場合の数の発見》 - 魔法陣 -

2 つぎのまほうじんをかんせいさせなさい。

まほうじんとは、どこのたて・よこ・ななめの数をたした数もひとしい表をいいます。(2)は三角形のかくへんの数をたした数がひとしくなるようにかんがえましょう。(同じ数はつかいません。)

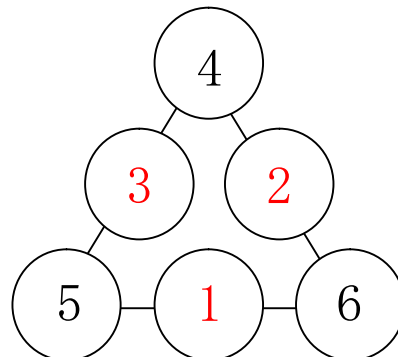
(1) 1~9 の数をつかう

(1 点×5+3 点)

6	7	2
1	5	9
8	3	4

たて・よこ・ななめの数の和は (15)。

(2) 1~6 の数をつかう (2 点×3+2 点)



1 ペんの数の和は (12)。

$4 + \bigcirc + 5 = 5 + \triangle + 6 = 6 + \square + 4$ より

$4 + \bigcirc = \triangle + 6$ $5 + \triangle = \square + 4$

$\bigcirc, \triangle, \square$ は 1, 2, 3 のいずれか。

《図形の発見》

3 つぎの積み木の数と見えている面の数を答えなさい。

(正面・左右のよこ・うら・上から見た面の数)

(1) (2点×2+1点×5)

(2) (2点×2+1点×5)

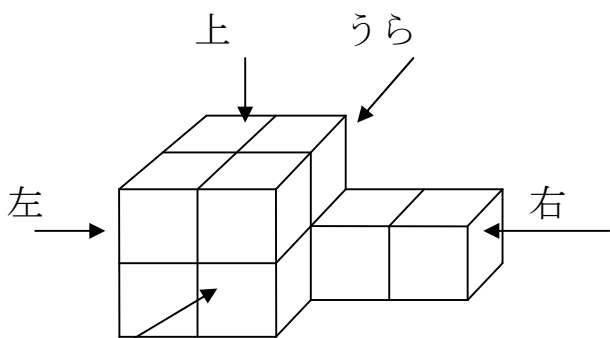
積み木の数 (10) こ

積み木の数 (16) こ

面の数 (26) こ

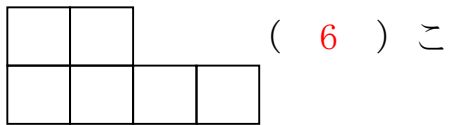
面の数 (39) こ

* (1)の積み木を立て、6この積み木をつ
けくわえた。

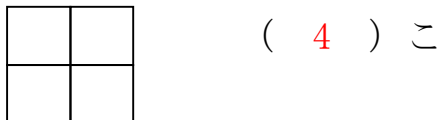


正面

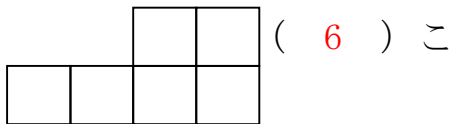
・正面から見える数



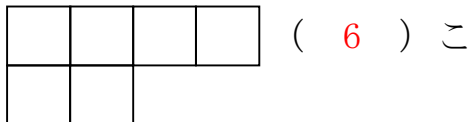
・右よこから見える数



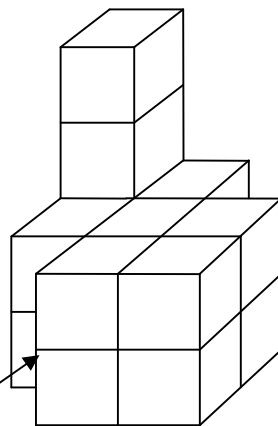
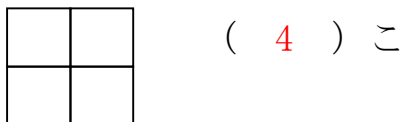
・うらから見える数



・上から見える数

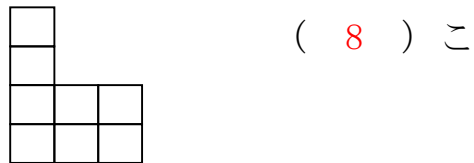


・左よこから見える数

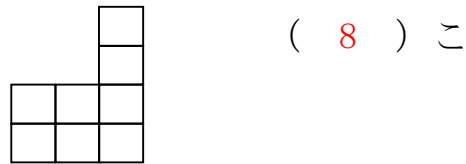


正面

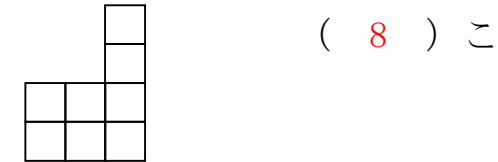
・正面から見える数



・右よこから見える数



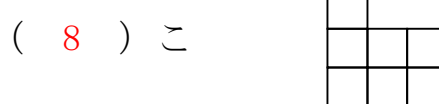
・うらから見える数



・上から見える数



・左よこから見える数

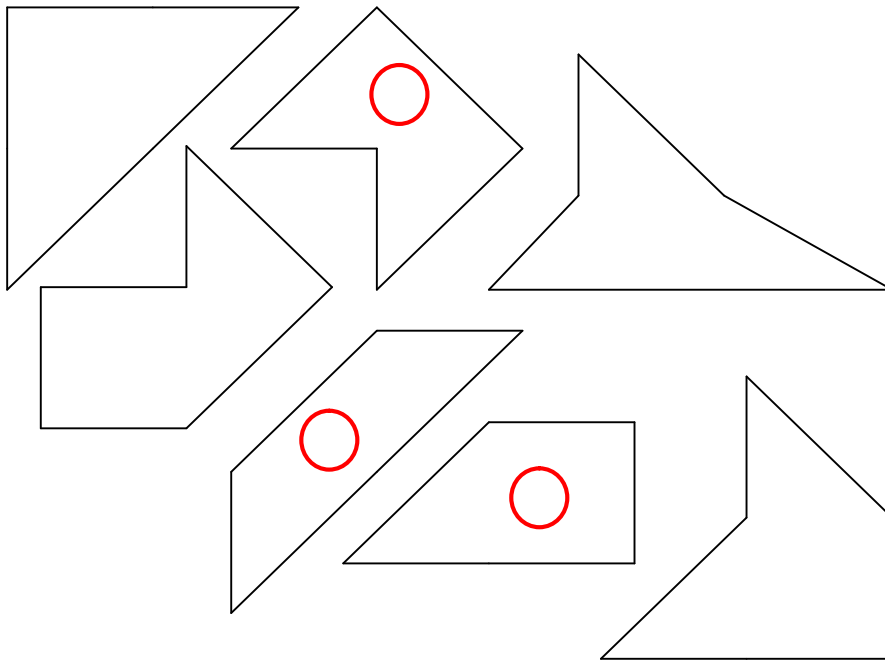
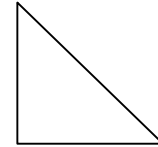


IV 構想編 - 発展 -

なまえ

《新しい形をつくる》

- 1 右の三角形3まいをつかって、できる図形を3つえらんでえんぴつでぬりつぶしなさい。(2点×3)



《約束ごとによって創り出す》

- 2 まみちゃんによしおくんからつぎのような暗号文がとどきました。暗号ひょうを見て、まみちゃんといっしょにときましょう。

ただし、数字はそのままかかれています。こたえは句読点を入れて読みやすくしましょう。(「句読点」というのは、「。」や「、」のことです。)

また、この返事をよしおくん暗号でしらせましょう。(5点×3)

(ただし、日本語もかくこと。)

○1□3○1○310▲3△5△1□4◇7◇5◇2□1▽1☆△5○1□4

○7□9○2○9◇2△1

【解答】

(あす、あさ10時にいつものこうえんにあつまるから、こい。)

◆2▽7☆▽5△1▽2○5△1◎

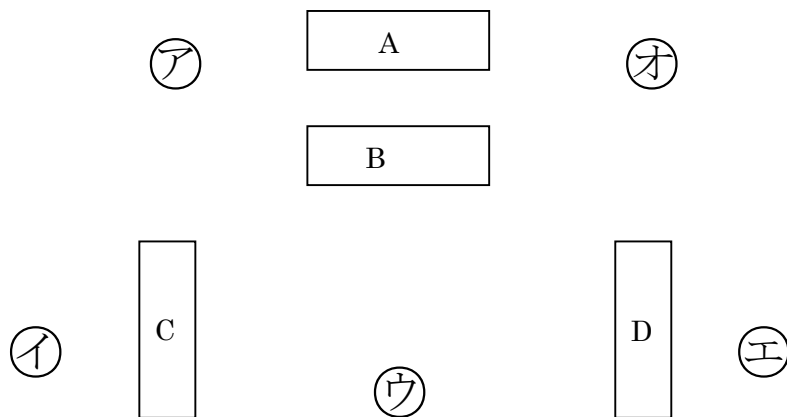
(ごめんね。いけないわ。)

注 だく音は黒くぬりつぶす。

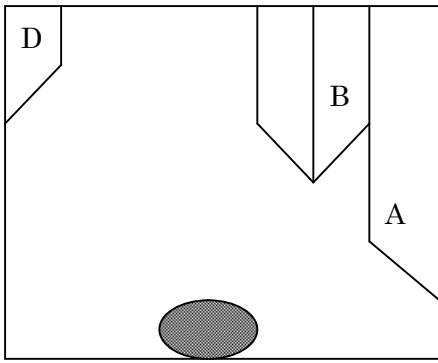
あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ
○1	△1	□1	▽1	◇1	○2	△2	□2	▽2	◇2
さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と
○3	△3	□3	▽3	◇3	○4	△4	□4	▽4	◇4
な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ
○5	△5	□5	▽5	◇5	○6	△6	□6	▽6	◇6
ま	み	む	め	も	や		ゆ		よ
○7	△7	□7	▽7	◇7	○8		□8		◇8
ら	り	る	れ	ろ	わ	を	ん		
○9	△9	□9	▽9	◇9	◎	*	☆		

- 3 ようこちゃんはビルがいにまよいこんでしまいました。つぎの①～④の
 ようにビルがようこちゃんに見えたとき、ようこちゃんは下の図の㉠～㉣
 のどの場所ばしょにいましたか。記号きごうで答えなさい。
 (ただし、①～④の図の●の部分はようこちゃんの立っている場所)

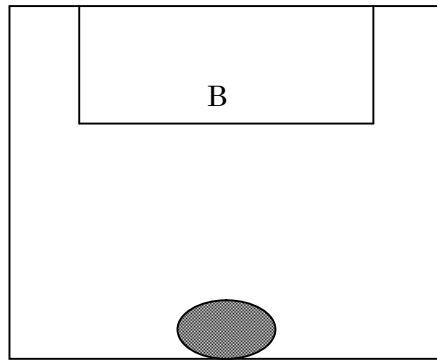
上から見た図



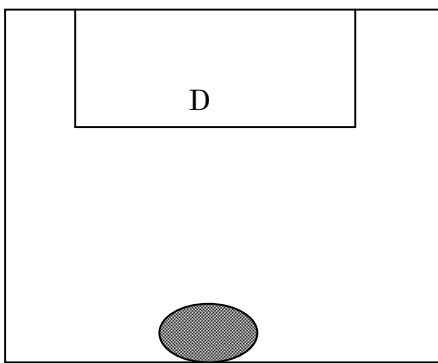
① (オ)



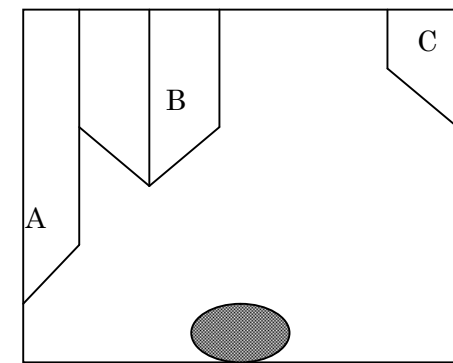
② (ウ)



③ (エ)



④ (ア)

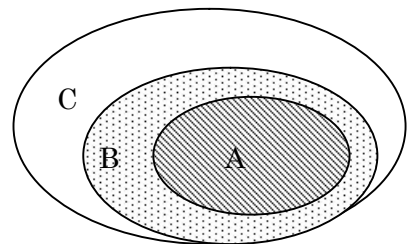


《推察することができるか》－集合－

4 12 人の男の子がいます。その中でぼうしをかぶった子は 10 人です。また、めがねをかけた子が 4 人います。この 4 人はどの子もぼうしをかぶっています。

右の図は、この男の子たちのあつまりを図であらわしたものです。

A, B, C はそれぞれつぎのような男の子たちのあつまりをあらわしています。その人数を答えなさい。



(3 点×3)

A めがねをかけて、ぼうしをかぶった子 (4) 人

B めがねはかけないで、ぼうしをかぶった子 (6) 人
 $10 - 4 = 6$

C めがねはかけないで、ぼうしもかぶっていない子 (2) 人
 $12 - 10 = 2$